

神奈川臨調 県央地域で説明会

11月5日の午後6時半から県央地域県政総合センターで「神奈川県緊急財政対策」・「神奈川州(仮称)構想」に関する県民説明会が開催されました。県内5か所での説明会の1か所。参加者は約100人。

緊財政は県有施設や市町村・団体補助金の廃止・削減などを掲げています。まず黒川副知事が説明を30分、その後、参加者からの質問・意見に副知事・各部署の担当が答えました。

副知事は「県財政は厳しい。いろんな取組をしているが、平成25・26年度の財源不足は1600億円。これからさらに厳しい見通しだ。いろんな場面で意見交換をしていきたい。県の危機的状況を共有した中で、取組を進めたい」。

問 財政危機と言うが、神奈川は他県より財政力はある。

答 今のレベルの行政経営をしたら続かないのは明らか。将来に備えてサバイスの質を考える。

問 緊財政が実施されたら、県民の暮らしは大変になる。

答 全て結論が出ている訳ではない。関係者としてしっかり意見交換して見直す。

問 説明では教職員の人件費だけ。他に行政職も警察官もいる。

答 教員人件費、国庫負担は33%だが実際は20%。県単で配置している。

問 安直な試算だ。宮ヶ瀬ダムが妥当だったのか、インベスト神奈川の功罪はどうか。過去どうだったのか、赤字体質を究明しなければ納得できない。住民の福祉がこれだけ削られる。

答 インベスト、雇用と投資の関係を示し、検証していきたい。

一方で目の前の財源不足への取り組みをしていかなくてはならない。

問 州構想で世界最先端の医療をやりたいというが、どんな構想でいくらかかるのか。県財政がきびしいといながら、一方で、インベストには税金を使う。

問 県営住宅に9万人以上が住んでいる。今年3月に県住生活基本計画を策定した。公営住宅の連携強化、災害時のオープンスペースや津波避難タワーも謳われている。個々の政策との整合性はどうか。廃止しないと断言してほしい。

答 廃止は一切考えていない。より経費のかからない方法、効率的な団地配置、統合縮小などで数を少なくして、余剰地を売却。民間の借り上げは建て替えの時考える。市町への移管は市営住宅と一体化した方が効率的なら考える。個別計画との関係はどうなのか議論していく。

問 県の公園面積は最下位。県がやらないと誰が責任をとるのか。市町村はできない。民間に払い下げたら、都市開発になってしまう。

問 小児医療費助成は年40億円、健康を守る、子育て支援。知事は「いのち輝くマグネット」と言っている。減らすことはありうるのか。

答 少子化に重要な事業であり、拡充してきた。消費税率が上がれば平成29年度で2000億円、半分は市町村、残りは社会保障の財源。税を上げるか、給付のレベルを下げるか判断していく必要がある。

問 障害者施設で働いている。国の制度が一人ひとりに向いていない。利用する人の視点に立って見直しを。

問 説明会が5回では少ない。県民200万人に対して1か所だ。

答 5回で終わりとは考えていない。いろんな場面で意見交換しながら進めていく。

問 今のままじゃ意見交換にならない。県の姿勢は、県民・現場の視点が無い。財界と国の特区の下請けになっている。

答 貴重な意見を頂いた。しっかり受け止めて、今後に生かしていきたい。住民の目線が無いといけない。

問 スケジュールはどうなるのか。決まってから話しても困る。

答 方向性が今年いっぱいには成立したものを平成25年度予算に反映させる。無理なら平成26年度に。工程は来年2月の予算発表時に示す。

この他にも、農業用取水口維持管理の現状維持の要望などもありました。県有施設、市町村補助金、団体補助金、それぞれの関係者や関心のある県民が参加して、多くの意見や質問が出されました。大枠でも、個別のことでも、それぞれ切実な問題提起でした。

副知事は、「財政が厳しく、ゼロベースでの見直しをする。個別に意見を聞く」とは言いますが、財政が厳しく、少子高齢化が起きているのは、県だけではなく、どこの市町村も同じです。県だけが、こんなことをしているのでしょうか。

直接、住民のくらしに関わる市町村は、たまったものではありません。自治体の役割を投げ捨てて、マスコミ受けのいい州構想に逃げるのかと、言いたい。

県は、県立厚木病院を「移譲」し、青少年会館(現・勤労福祉センター)を厚木市に押し付けてきました。またしても、各自自治体に県有施設の押し付けをするのではないかと考えざるを得ません。

県に対して、しっかり意見を言うっていいようではありませんか。

今週の活動から

釘丸久子議員 11月13日、七沢の小水力発電の様子と、下古沢のメガソーラー予定地を視察しました。



養鱒場から水をひいて1m50cmの落差をつくりだし、発電しています。

「ようこそ七沢へ」のLED照明の看板の電源になっています。

栗山香代子議員 七沢自然ふれあいセンターのふれあいデーに参加。オリンピック仕様の70万円のマウンテンバイクと聞いて、恐る恐る試乗しました。



11月の法律相談は
11月20日(火)14時～
事前の連絡をお願いします。